

# 平成27年度文部科学省アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業 日本動画協会「アニメ業界制作人材共同研修（新人・若手編）」 開催のご案内

一般社団法人日本動画協会では、今後のアニメ業界を担う若手アニメプロデューサー育成のための人材育成を行っています。今年1月・2月月には平成26年度文部科学省アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業（事業委託先：日本工学院専門学校）の一環として南雅彦常務理事（ボンズ 代表取締役社長）の監修、人材育成ワーキンググループ（座長：ビデオマーケット取締役 増田弘道）企画による「若手アニメ制作人のためのキャリアアップセミナー」を開催し多くの参加者を得ることができました（開催講座数：14講座、参加者数：延べ631名）。

日本動画協会では「若手アニメ制作人のためのキャリアアップセミナー」の成果を踏まえ、引き続きアニメ業界の新人・若手を対象とした「アニメ業界制作人材共同研修（新人・若手編）」を企画・開催することとしました。これは平成27年度文部科学省アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業（事業委託先：日本工学院専門学校）の一環としての実証実験を兼ねているものです。

本講座では、制作進行を経て現在アニメづくりの最前線に立つプロデューサーの方々から現役の若手スタッフに対し制作職（制作進行・デスク・プロデューサー）の役割やその仕事内容について段階的に解説してもらおうというものです。アニメにとって制作という仕事はどういう意味を持つのか。その理解を通じて仕事に対する意義ややりがいに参加者に共有してもらいたいと考えています。本セミナーを通じアニメ業界の新人・若手が多少なりとも自分の将来像をイメージできるようになれば幸いです。つきましては、アニメ制作スタジオの皆様には、新人・若手スタッフの本講座へのご参加を是非お願い申し上げます。

## 文部科学省アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業 「アニメ業界制作人材共同研修（新人・若手編）」概要

### ■ 開催日時

2015年9月16日（水） 13時20分～19時00分（90分×3コマ+質疑・名刺交換会）

### ■ 受講対象

アニメ制作・制作スタジオに所属する新人・若手、アニメ関連教育機関の教員

### ■ 開催プログラム

13:20-13:30 開会挨拶「アニメ業界制作人材共同研修の実施にあたって」  
一般社団法人日本動画協会 常務理事（株式会社ボンズ 代表取締役）  
南雅彦 氏

13:30-15:00 「制作進行の「仕事」とは？」  
株式会社トリガー 取締役 アニメーションプロデューサー  
舂本和也 氏

15:10-16:40 「プロデューサーの「仕事」とは？」  
株式会社バンダイナムコピクチャーズ 企画営業部長/プロデューサー  
樋口弘光 氏

16:50-18:20 「アニメの「仕事」を組織する方法とは？」  
株式会社ピーエーワークス 代表取締役  
堀川憲司 氏

18:20-19:00 「質疑・名刺交換会」

### ■ 会場

家庭クラブ会館（新宿駅南口徒歩8分）  
東京都渋谷区代々木3-20-6  
<http://www.kateiclub.com/access.html>

### ■ 参加申込み方法

<http://aja.gr.jp/info/763>

※WEBサイト内フォームよりお申込みください  
（満席になり次第締め切りとさせていただきます）

<会場案内図>



# 平成27年度文部科学省アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業 日本動画協会「アニメ業界制作人材共同研修（新人・若手編）」 講師プロフィール・講座内容

## ■ 講師プロフィール・講座内容

### (1) 「制作進行の「仕事」とは？」

株式会社トリガー 取締役 アニメーションプロデューサー  
舛本和也 氏

講師プロフィール：1976年生まれ。山口県岩国市出身。福岡工業大学卒業後、代々木アニメーション学院福岡校アニメーター科に入学。2000年に制作進行としてアニメ会社に就職。デジモンシリーズ・金色のガッシュベル・おジャ魔女どれみ（東映アニメーション）やポポロクロイス物語・とっとこハム太郎劇場（トムスエンターテインメント）、はじめの一步（マッドハウス）等に携わる。2006年にG A I N A X入社。「天元突破グレンラガン」（TVシリーズ・劇場等）の制作デスク・制作プロデューサー、「Panty & Stocking with Garterbelt」のプロデューサーを担当。2011年、今石洋之、大塚雅彦とともに株式会社T R I G G E R設立。「キルラキル」ではアニメーションプロデューサーを担当。

制作進行の基本業務である「管理する」という仕事が、制作進行からキャリアを積んだ先でいかに重要になるのかをお話いただきます。「管理する」という仕事が、キャリアを積んだ先、プロデューサーとして管理業務を行う場合、演出・監督としてクリエイティブ制作を行う場合に、なぜ必要となるのか？いま、新人として携わっている仕事が、今後のステップアップにどのように繋がっていくのかをお話いただきます。

### (2) 「プロデューサーの「仕事」とは？」

株式会社バンダイナムコピクチャーズ 企画営業部長/プロデューサー  
樋口弘光 氏

講師プロフィール：(株)バンダイナムコピクチャーズ企画営業部長/プロデューサー。1978年、埼玉県生まれ。大学卒業後の2001年4月(株)サンライズへ入社。第5スタジオへ配属となり、制作進行としてTVシリーズ「星界の戦旗Ⅱ」「マシンロボレスキュー」、映画シリーズ「犬夜叉」等に参加。2004年より制作デスクとして映画「犬夜叉」「かいけつゾロリ」、OVA「星界の戦旗Ⅲ」、TVシリーズ「銀魂」等に参加。2009年よりプロデューサーとしてTVシリーズ&劇場版&両国国技館イベント「銀魂」、TVシリーズショートアニメ「ケロロ」、映画「かいけつゾロリ」、オリジナルショートアニメ「MILPOM★」に参加。また角川つばさ文庫「サトミちゃんちの8男子」シリーズにも関わる。2015年4月バンダイナムコピクチャーズ発足に伴いサンライズから転籍。

制作進行からステップアップしてプロデューサーにキャリアが進んでいった時に、制作進行・制作デスクの仕事から、どのように仕事の範囲が広がっていったのかをお話しいたします。プロデューサーとして制作現場とビジネス領域を扱うなかで活かした制作進行での経験は？またプロデューサーになったときに新しく学ぶ必要があったのはどのようなことか？プロデューサーの仕事全体の流れ、クリエイターとの関係を含めてお伝えいただきます。

### (3) 「アニメの「仕事」を組織する方法とは？」

株式会社ピーエーワークス 代表取締役  
堀川憲司 氏

講師プロフィール：(株)ピーエーワークス代表取締役・プロデューサー。1965年 愛知県生まれ。(株)タツノ プロダクション、(株)プロダクション アイ・ジュー、(株)ビートルインを経て、2000年「越中動画本舗」創業、代表取締役就任。2002年(株)ピーエーワークスに社名変更。創業以前、「新世紀・エヴァンゲリオン」や「人狼」などの作品に参加。独立後、「攻殻機動隊シリーズ」や「レイトン教授と不思議な町」等の作品に制作参加。2008年、同社初の元請TVシリーズ作品「true tears」が、富山県を舞台に繰り広げられる青春ストーリーで話題となる。以降オリジナル作品では、「花咲くいろは」「TARI TARI」「凧のあすから」「グラスリップ」「SHIROBAKO」等を制作している。

アニメ業界でオリジナルのアニメ作品を作るために、プロデューサーにはどのような能力が必要なのでしょう。クリエイティブ的な観点と組織・チームでのチームワーク管理の観点、そしてこの二つのバランス感覚の重要性をお話いただきます。また、この中でアニメの「作品を作ること」とアニメを作る「組織を作ること」の意味をお話いただき、参加をいただきました新人の皆さんにも、自分が制作進行からプロデューサーになったその先、アニメ業界に生きる中で10年後にどんな仕事をしたいのか？ということを考えていただきます。